

# エスディ ジズ SDGs 未来安心予算

# 市民とつながり、

# 共に創る 明石の未来



令和6年度の市の予算が決まりました。「いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで」をスローガンに やさしい共生のまちづくりを一層進めていきます。

お問い合わせ／企画・調整課 (TEL)918-5010 (FAX)918-5101)

## 市長コラム



共創元年、  
本格始動します！  
明石市長 丸谷聡子

市は、本年を「共創元年」と位置づけ、「対話と共創」を新年度のまちづくりの基本方針としています。市民との「対話」を通じて多様化、複雑化していく市民ニーズや地域課題を把握し、産官学民の多様な主体との「共創」により、市民ニーズに沿った課題解決に向け、実践的な取り組みを展開してまいります。

引き続き、持続可能な未来に向けて、誰一人取り残さない「SDGs未来安心都市・明石」をみんなで創っていきましょう。

## 対話と共創のまちづくり

市民との「対話」を通じて、市民ニーズや地域課題を把握し、地域や企業、大学・研究機関などと「共創」により実践的な取り組みを展開します。

### 市民との対話による、まちづくりの推進 163万円

- **タウンミーティングの開催**  
小・中学生対象の「こども会議」や、テーマ別、地域別などで開催予定。
- **市民ファシリテーター養成講座の開催**  
地域で市民による対話を通じたまちづくりが進むよう、市民ファシリテーターの育成を行います。



### 産官学民の共創による、まちづくりの推進 1050万円

- **市民の日常生活における移動支援など**  
市民の移動の課題についてワークショップなどを行い、地域や企業を含めた産官学民の共創で課題解決に向けて取り組みます。
- **大学との連携推進など**  
市民ニーズや地域課題に対応するため、大学・研究機関などと幅広い分野で連携を進めます。

## 安全・安心のまちづくり

地震や台風など自然災害への対応や、インフラの計画的な整備など、ソフト・ハード両面から取り組みます。

### 市民ニーズに応じた 多様な視点での避難所の充実 485万円

災害時に高齢者や障害者、乳幼児などが安心して避難所で生活できるよう、備蓄物資の整備や福祉避難所の拡充を進めます。



### ひなんサポーターの養成と 個別避難計画の作成 252万円

自治会・町内会、まちづくり協議会などと市が連携し、災害リスクの高い沿岸部・河川流域を中心に、個別避難計画の作成を促進します。また、地域のひなんサポーターを養成するため、参加者体験型の研修を開催します。



要配慮者への支援などを積極的に行います

### 防犯カメラを活用した 地域安全対策の充実 820万円

自治会などが防犯カメラを設置する費用を助成します。  
⇒ 1台6万円(上限)×20台



## こどもを核としたまちづくり

「こどもまんなか社会」の実現に向けて、明石独自の5つの無料化の継続に加え、さらにきめ細やかな取り組みを拡大します。

### 病児・病後児保育の拡充 9902万円

- **施設の新規開設**  
保育所や放課後児童クラブなどでの保育が困難な病児・病後児を一時的に保育する病児・病後児保育事業の受け入れを拡充します。
- **オンライン予約システムの導入 2024年12月～**  
病児保育の予約手続きがオンラインで可能に。



### 不登校児童・生徒への支援 1億4146万円

- **校内フリースペースの設置**  
新たに市内7小学校内に校内フリースペースを設置し、職員を配置することで、学校生活や学習のサポートを行います。
- **フリースクール利用料助成制度の創設**  
施設に通う利用料の一部を助成します。  
⇒ 月額1万円(上限)×12か月
- **こどもの居場所の増設**  
学校、家庭以外の第三の居場所として、市西部エリアに2か所目の公設民営のこどもの居場所を整備予定。



こどもの居場所  
あかしフリースペース  
トロッコ(天文町)

## SDGs未来安心都市・明石

**いつまでも**  
未来につながる  
持続可能なまちに向けて

**みんなで**  
「対話」と「共創」  
で進めます

**すべての人に**  
年齢・性別・障害・  
国籍などに関わらず、  
誰一人取り残さない

**やさしいまち**  
安心の  
インクルーシブな  
まちづくりを



### 令和6年度 予算概要

一般会計	1262億7855万
特別会計	698億9755万
企業会計	262億 859万

※詳しくは市ホームページへ

明石市 令和6年度当初予算 検索

## インクルーシブのまちづくり

誰もがありのままであられ、支え合いながら安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、取り組みを進めていきます。

### 認知症あんしんプロジェクト 5473万円

あかしオレンジサポーター制度の推進や、認知症の日(9月21日)と認知症月間(9月)に市民への普及啓発イベントなどを実施。



### 介護・障害分野の 人材育成・施設整備などの取り組み 7億3965万円

福祉分野の総合的な人材の育成と確保への施策を実施し、高齢者施設や障害者グループホームなどの整備を行います。

### ソシエ LGBTQ+ / SOGIE 施策の推進 686万円

誰もが、自分自身を大切に、自分らしく生き、互いを認め合える「ありのままがあたりまえのまち」の実現に向け、出前講座や企業向け研修、学校との連携強化を図ります。



駅前での啓発



出前講座の様子



## 賑わいのあるまちづくり

まちの持続可能な発展を目指すために、まちの元気や魅力の創出に取り組みます。

### 本のまち明石の取り組み 5億6974万円

誰でも本に親しみ、読書を楽しむことができるよう、新たな図書館や読書パリアフリー環境の整備を行います。



#### ● 新たな図書館施設の整備

- **二見地区 2025年春 開館予定**  
イトーヨーカドー明石店内への(仮称)二見図書館の整備
- **西明石地区 2026年 開館予定**  
(仮称)西明石地域交流センター内に図書館機能を整備

#### ● 明石市立図書館における座席予約システムの導入 2024年 夏ごろ

家からでも座席を予約できるシステムを導入

### 西明石地区活性化に向けた取り組み 5億8123万円

JR西日本と連携しながら、西明石駅周辺の安全性と利便性の向上を図り、駅前広場や(仮称)西明石地域交流センターの整備を進めます。



2026年  
オープン予定

### 中小企業にかかる創業支援などの取り組み 550万円

- **オンラインビジネスマッチングの構築**
- **市内の中小企業者が新商品の開発にチャレンジする経費などを助成**  
⇒ 上限50万円(2/3助成)×6件